

# 大学へ戻ってきた人

旭川医科大学 内科学講座

循環・呼吸・神経病態内科学分野

4年目研修医 浅野日 晃

# 前の病院での3年間

- 2006年3月 旭川医科大学卒業
- 2006年4月 医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院に  
初期研修医として入職

消化器 内科	外科	救急	循環器 内科	麻酔科	総合 内科	1年次		
小児科	老健	地域	精神	脳外	心外	産婦	循環器 内科	2年次

- 2008年3月 同院初期研修卒業
- 2008年4月 同院循環器内科後期研修医として残留

循環器内科	地域	循環器内科	3年次
-------	----	-------	-----

- 2009年3月 同院退職

# なぜ大学に

ぶっちゃけ一言で言ってしまうば

## 大学院進学するため

- 学生時代から医学研究特論(前のカリキュラム)で実際に1内の研究室で実験の手伝いをさせてもらい楽しかったから

これでは皆さんの参考にならないと思うので

# ではなぜ母校？

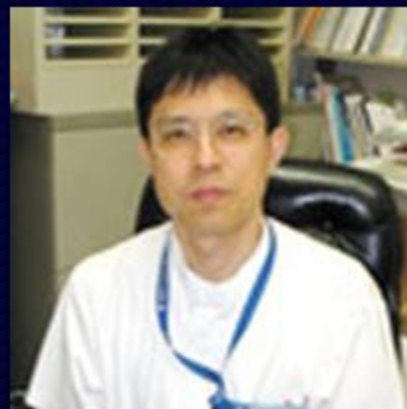
- やっぱり母校って大事でしょ

そもそも実家釧路だし道外行く理由ないし  
なんか他の大学行ったら知り合いはいないし  
なんか差別されそうだし

- 学生時代に講義やポリクリで  
お世話になった先生方もいるし

医学英語や再試でお世話になった先生が教授選に勝利していたり  
よく勧誘して頂いた先生が准教授に昇進していたり

- どうしても自分のやりたいことが  
あってそれが特定の施設でなけ  
ればできないのならないよ



こんな下っ端が言うのもなんだけど  
現在第一内科は「元気が出る教室」作りをモットーに活動しており、そのためには若い人手が医局を盛り上げるのも大切なことではないでしょうか

やる気のある人には多少の融通を聞かせて色々協力してくれるはずですよ？長谷部先生？

# 大学 VS 市中病院

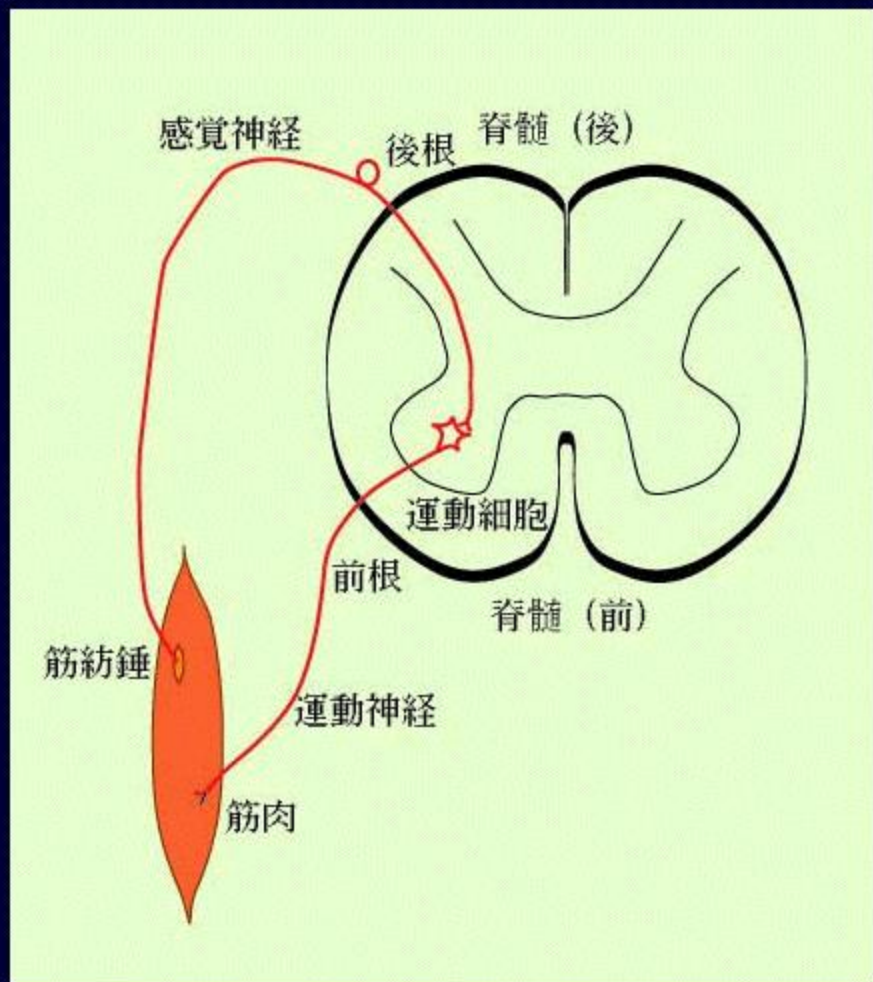
- 大学生生活まだ2ヶ月目ですが今の感想で
- 基礎研究するなら大学(例外はあるけど)
- 臨床研究するにしても市中病院じゃ暇ないかも  
それに大学だと関連病院にお願いして他施設でできる
- 市中病院は人員の関係もあり専門は偏る  
大学病院は様々なsubspecialityを持った人がいる  
→色々なことを教われる

# 大学 VS 市中病院

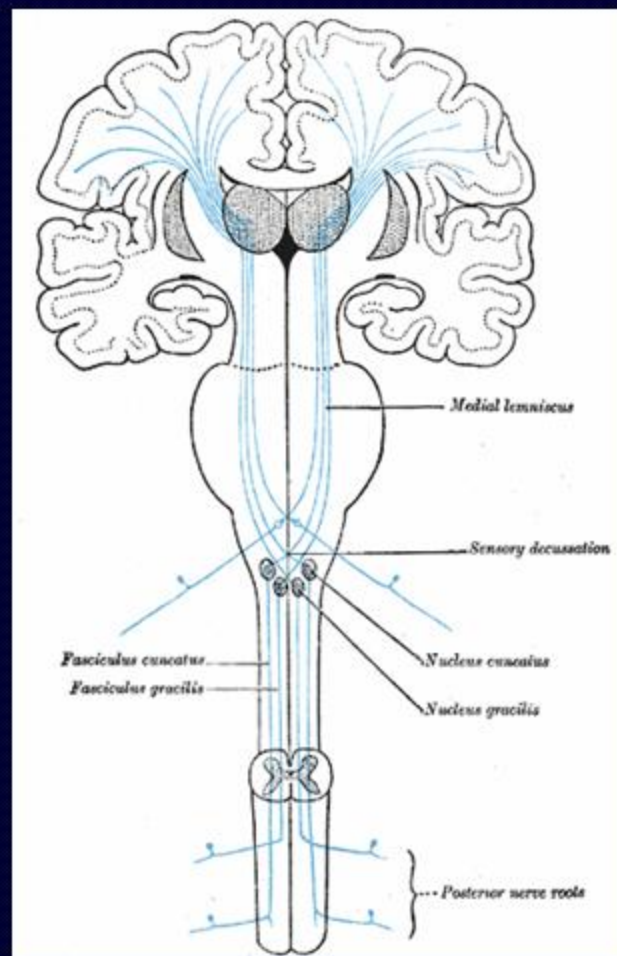
- 市中病院は主に急性期を治すところ  
大学は市中病院で調べられない複雑な検査もできて、治療＋原因を徹底的に調べられるところ  
→1つの疾患を色々な検査を通してじっくり診ることができる

市中病院だとDPCの関係で入院中に十分な検査ができず外来ですることになってしまうので、退院後意識してみなければその後どうなったかわからない  
大学(少なくとも1内)はそんなこと気にせずしっかり検査をして考えることが出来る

# 簡単に例えると



VS



# 自分の勝手な考えですがまとめ

- 結局、大学でも市中病院でもそれぞれ一長一短あるのでどっちがいいと言い切るのは無理
- でも結局大学に入局＝市中病院にも派遣で行くことにはなるので、大学に入局して双方を医療を経験してそれをうまく融合できるとよりよい医療ができるのではないのでしょうか

以上、独断と偏見に  
満ちた私見でした

ご清聴ありがとうございました